

π 共役系遷移金属多核錯体の電子ポテンシャル場設計と反応制御

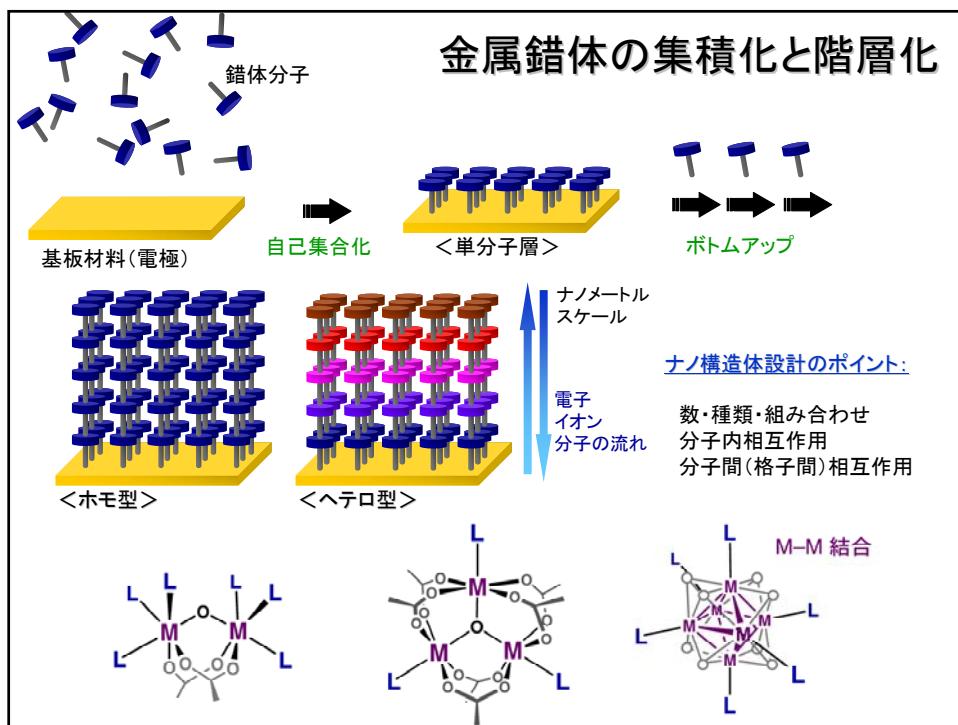
阿部 正明

九州大学大学院工学研究院
応用化学部門(分子)



九州大学 伊都キャンパス(福岡市西区; 平成17年10月~)

理化学研究所 研究会
「分子系の構造と電子状態 一『生物物質科学』を目指して」
平成 19年 4月 4—6日



ビルディングユニットとしての金属錯体

多様な性質:

- 配位数・幾何構造
- 光吸收特性
 - d-d, π- π*, CT (metal-to-ligand, ligand-to-metal, metal-to-metal)
- 混合原子価
- レドックス反応
- 配位子置換
- 外場応答性(電位・光・プロトン・ルイス酸・溶媒・電解質アニオン・熱・圧力 等)

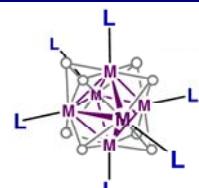
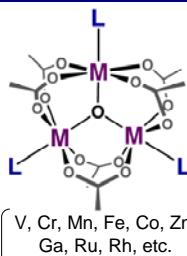
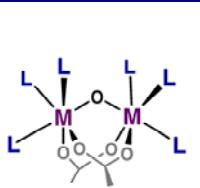
集積化:

- 架橋配位子による多量体化(集積型錯体・配位高分子の合成)
- 機能増幅・機能のヘテロ化
- 空間構造の形成
- pπ-dπ_z相互作用(Electronic communication)

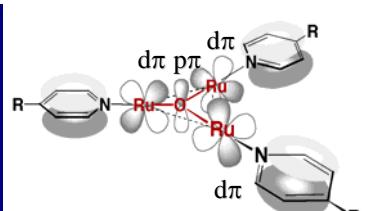
展開:

- 分子スイッチ・分子センサー・分子メモリー
- ナノ配線化・積層化 ナノ空間構造を活かした分子・イオン認識、捕捉、活性化
- 光電変換・光学材料
- 触媒

多核金属錯体の有用性

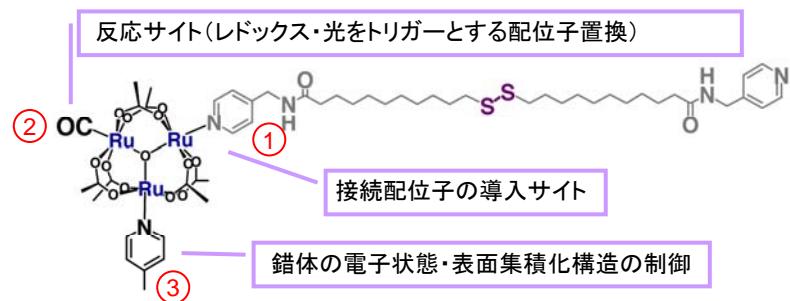


- ◆ 複数の金属中心 + 配位子
- ◆ M-M相互作用、M-L相互作用
π共役性(特に dπ-pπ 相互作用)
- ◆ 多段階の酸化還元挙動、混合原子価の発現
- ◆ 酸化状態の制御
配位子置換・分子認識特性の制御
ナノ構造体形成
- ◆ 架橋配位子のチューニング
プロトン共役電子移動
(錯体連結体における)ユニット間相互作用

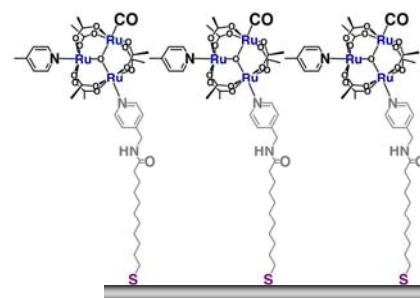


F. A. Cotton et al. (1972)
T. J. Meyer et al. (1978)
C. P. Kubiak et al. (2003)

混合配位子型の多核錯体

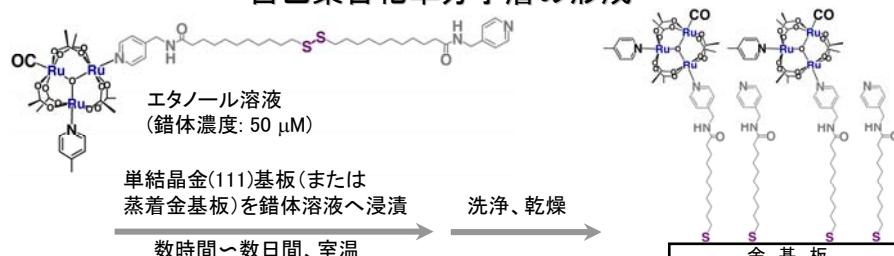


各サイトの使い分け

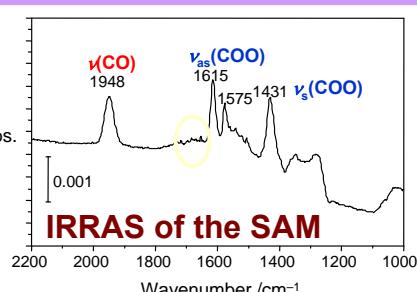
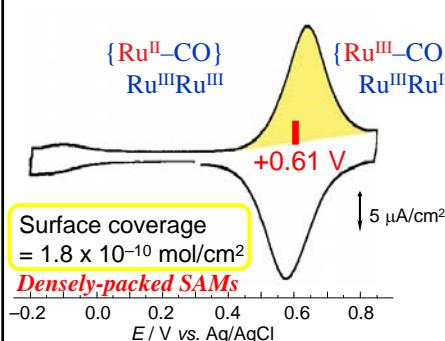


機能性表面の合理的設計

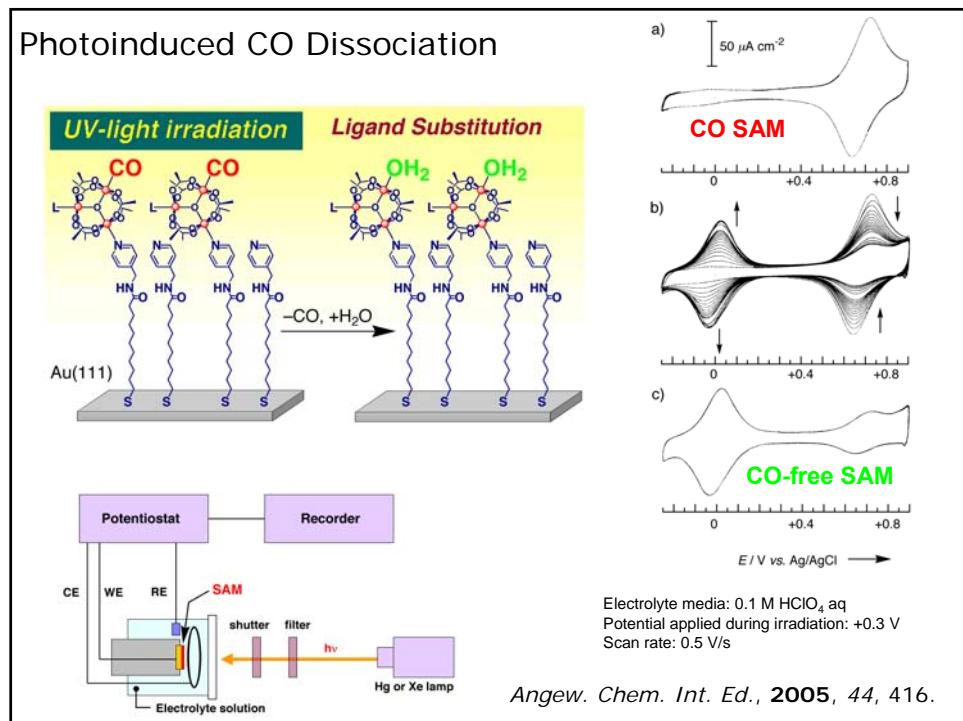
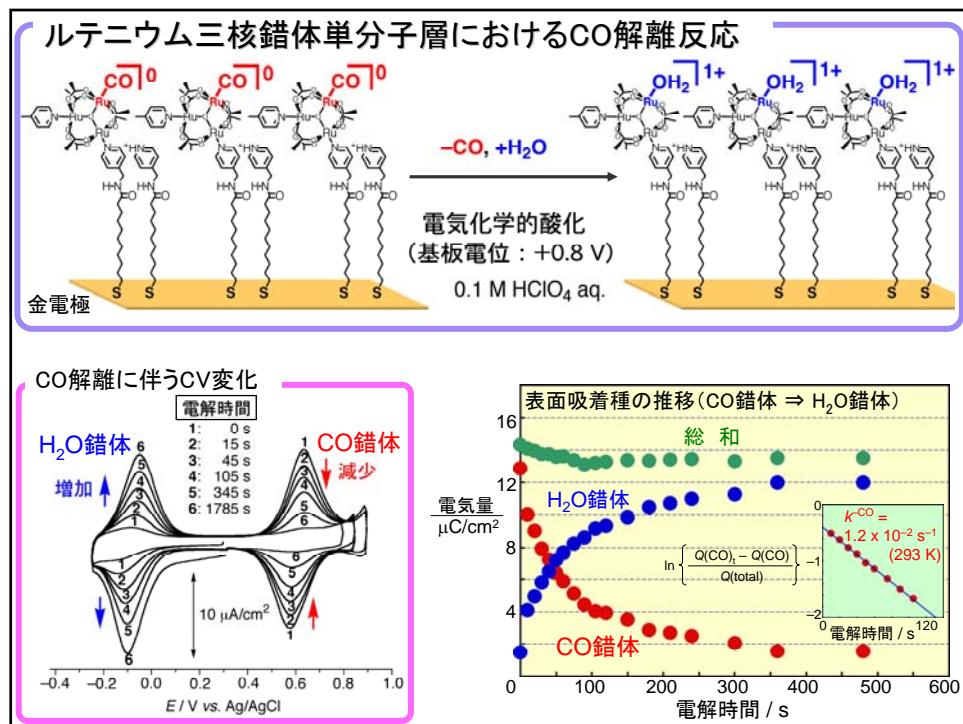
自己集合化単分子層の形成

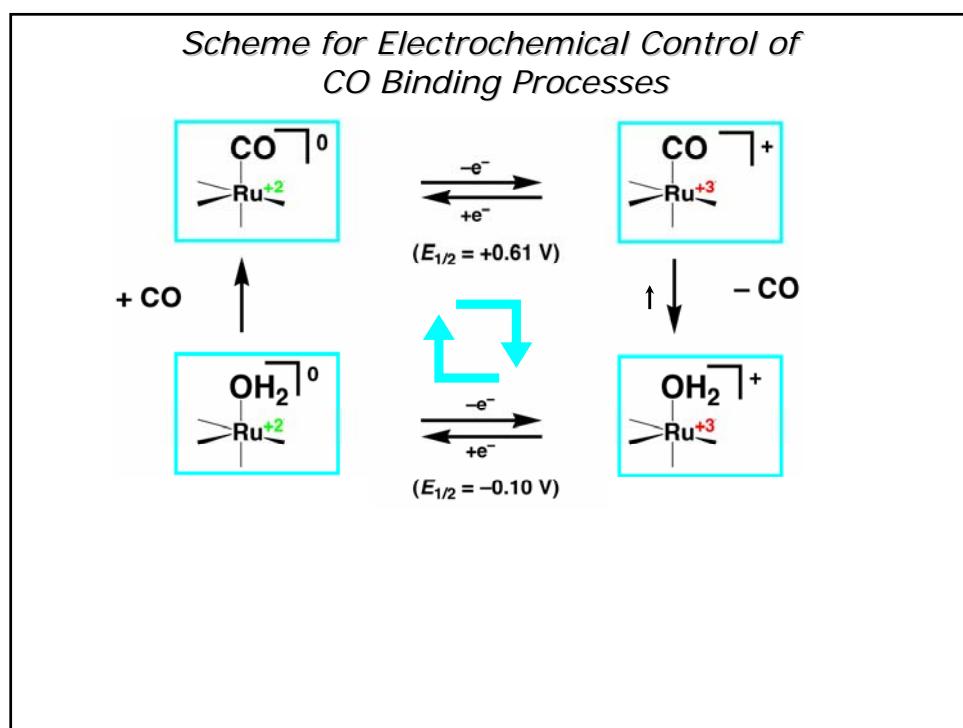
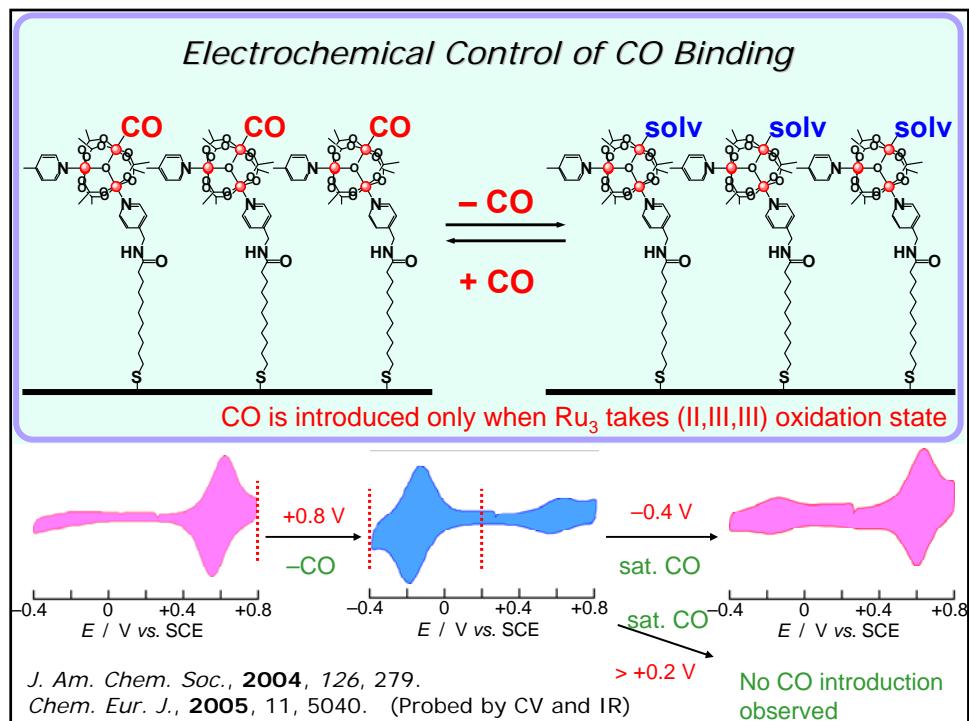


CV of the SAM (0.1 M HClO₄ aq)

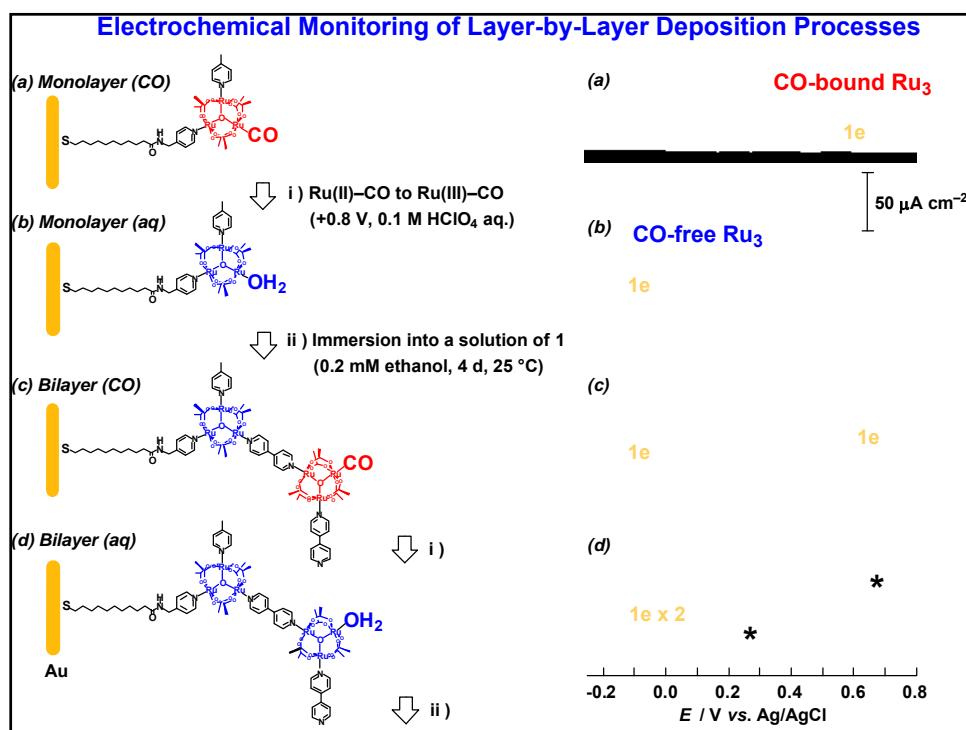
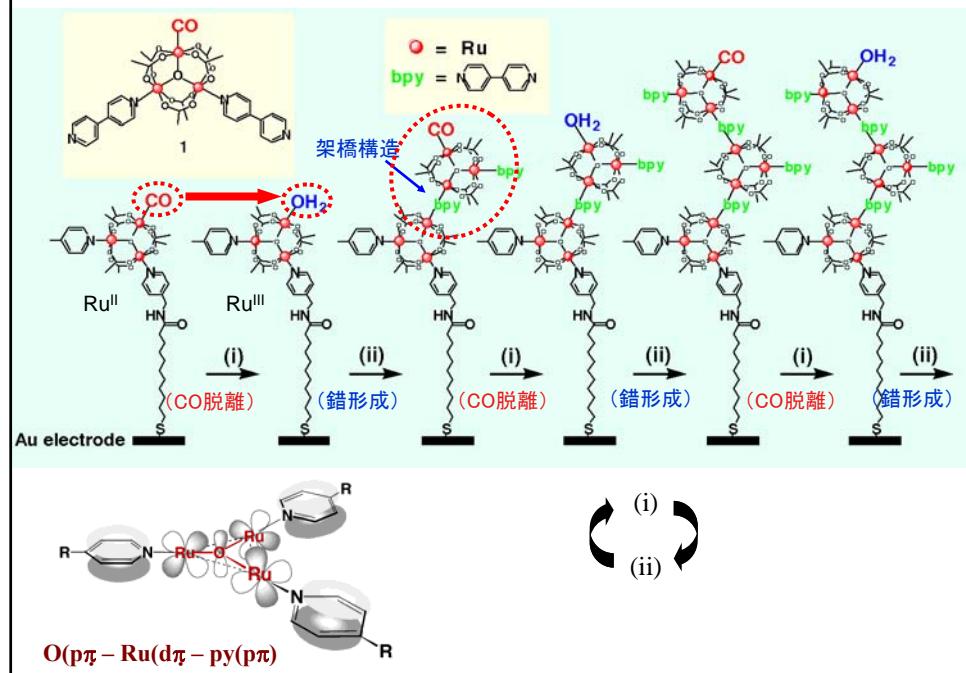


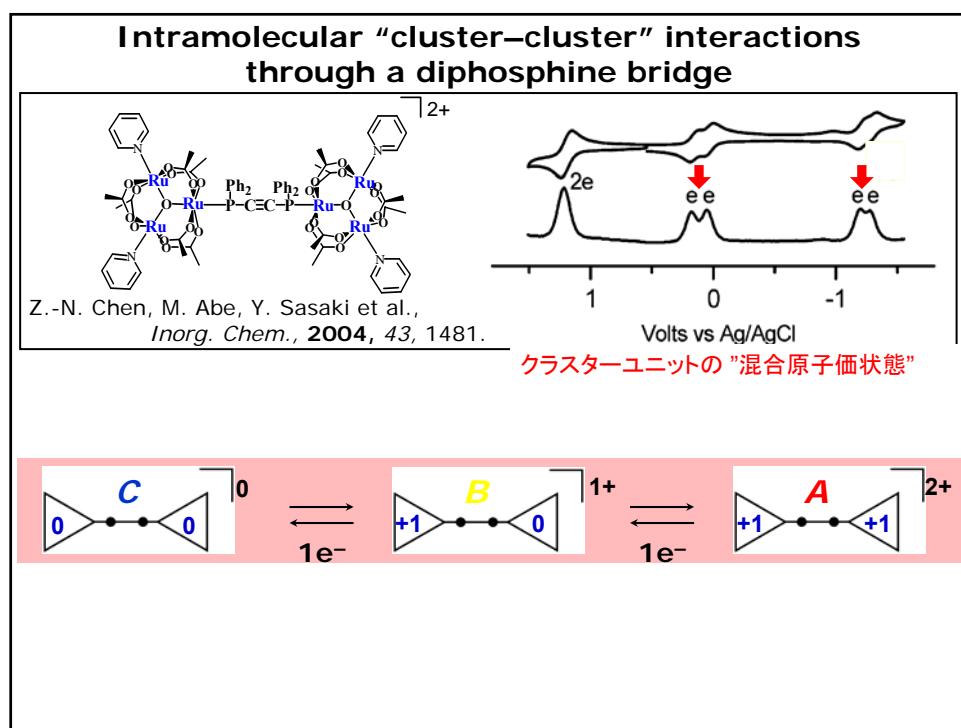
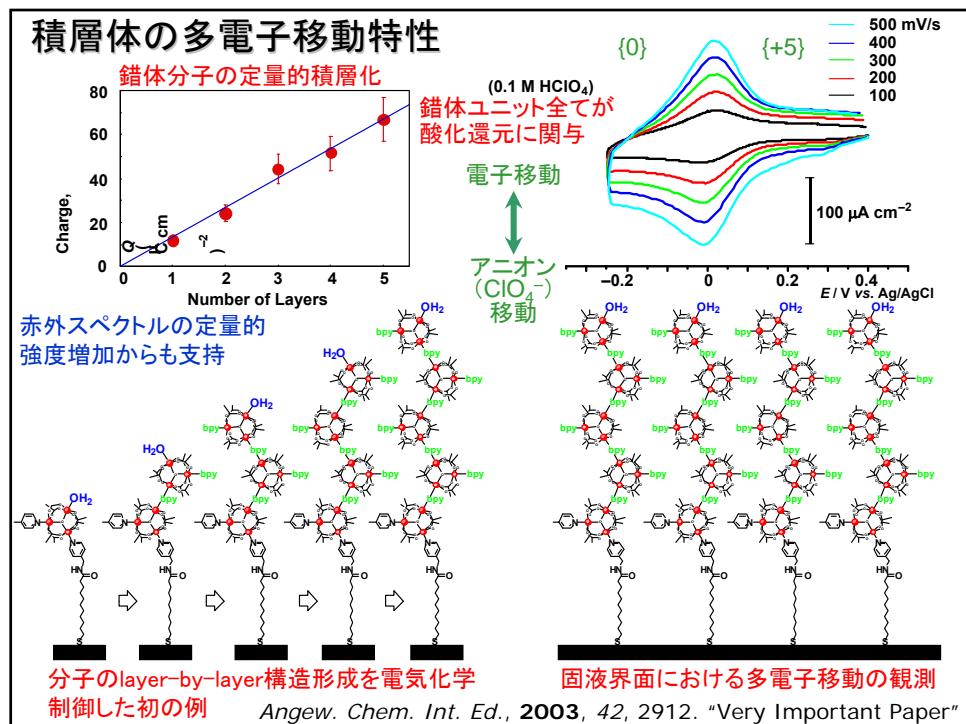
Ellipsometric thickness: 2.1(± 0.2) nm
Water contact angle: 53(± 1)°

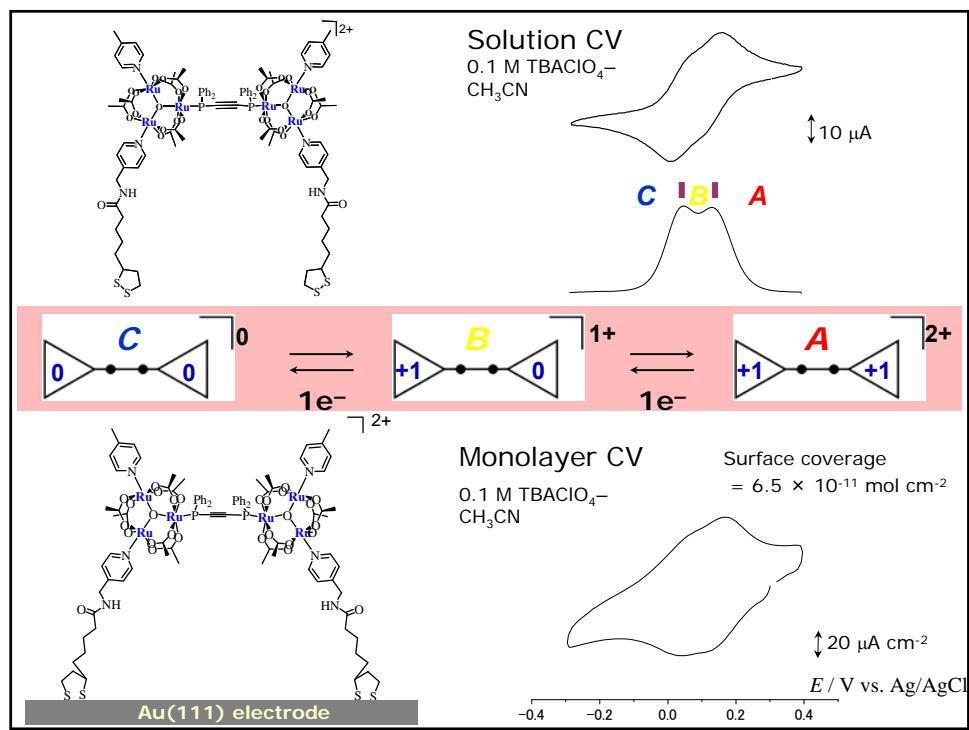
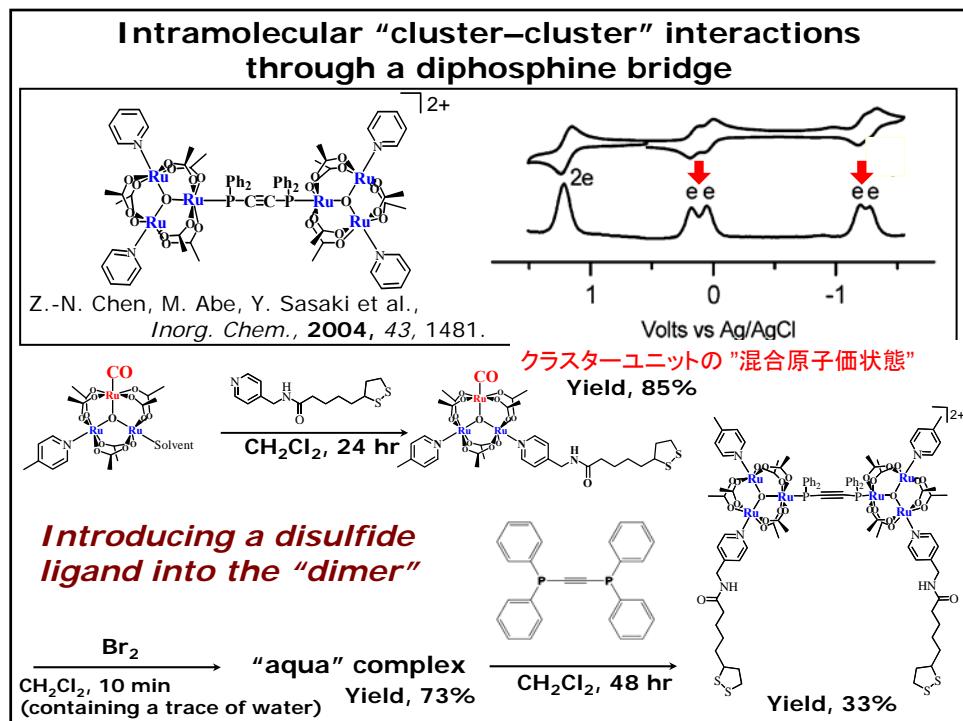




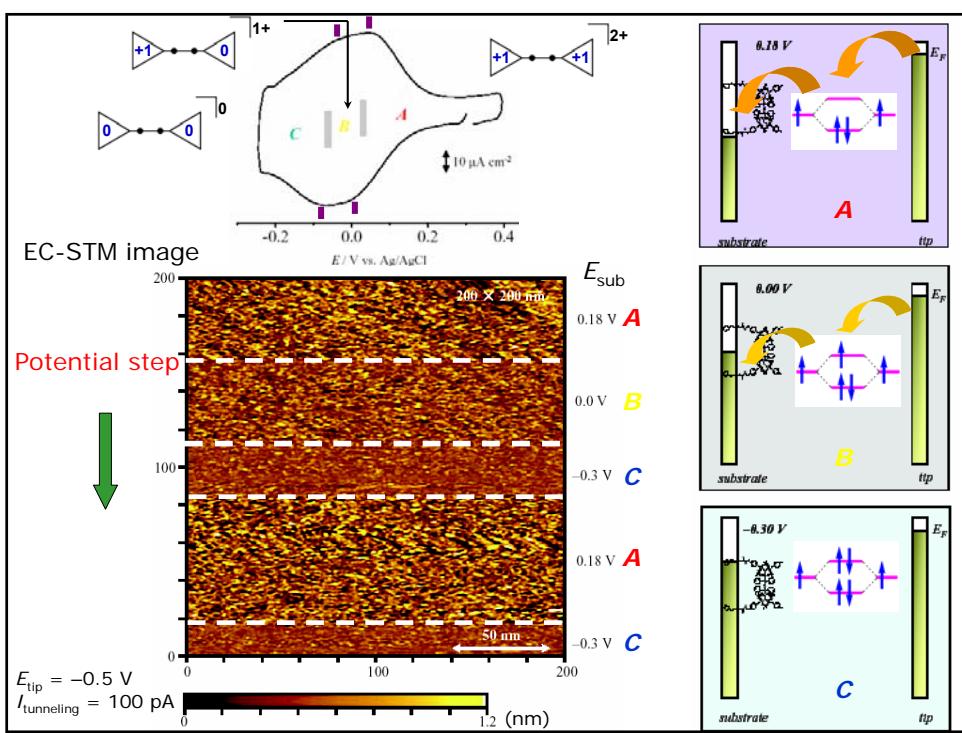
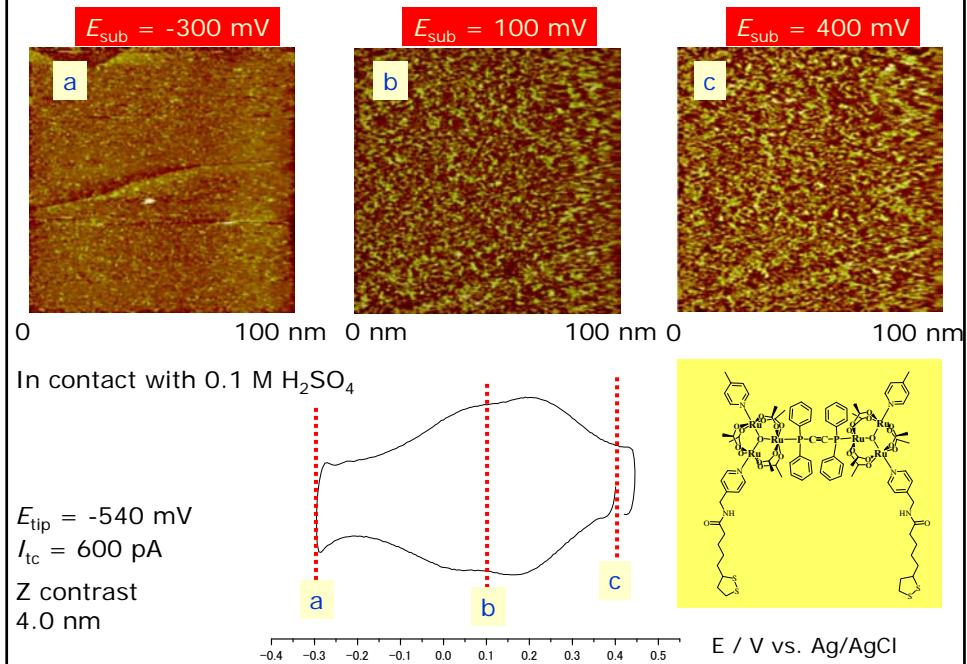
錯体積層構造の逐次的構築



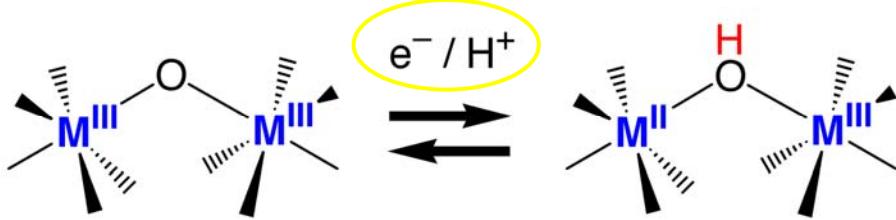




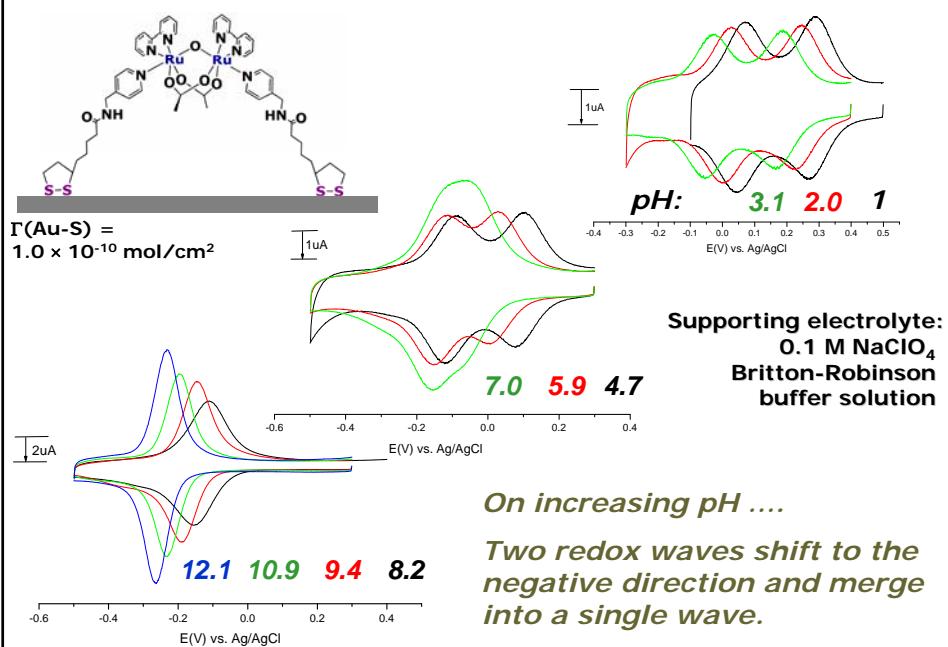
Surface-confined Ru₃-dimer in three different oxidation levels

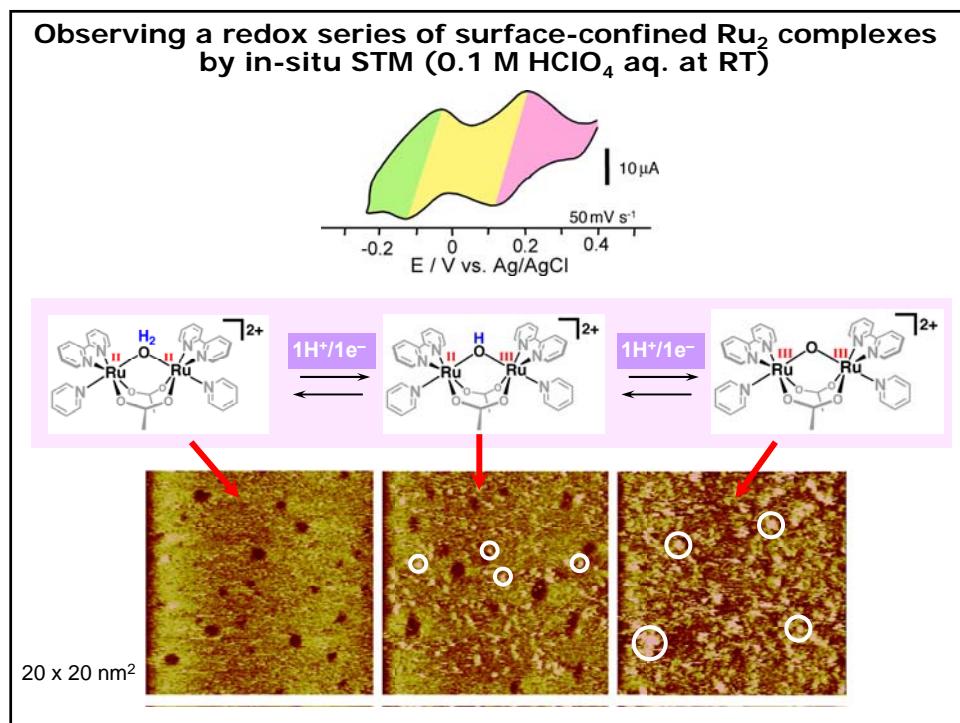
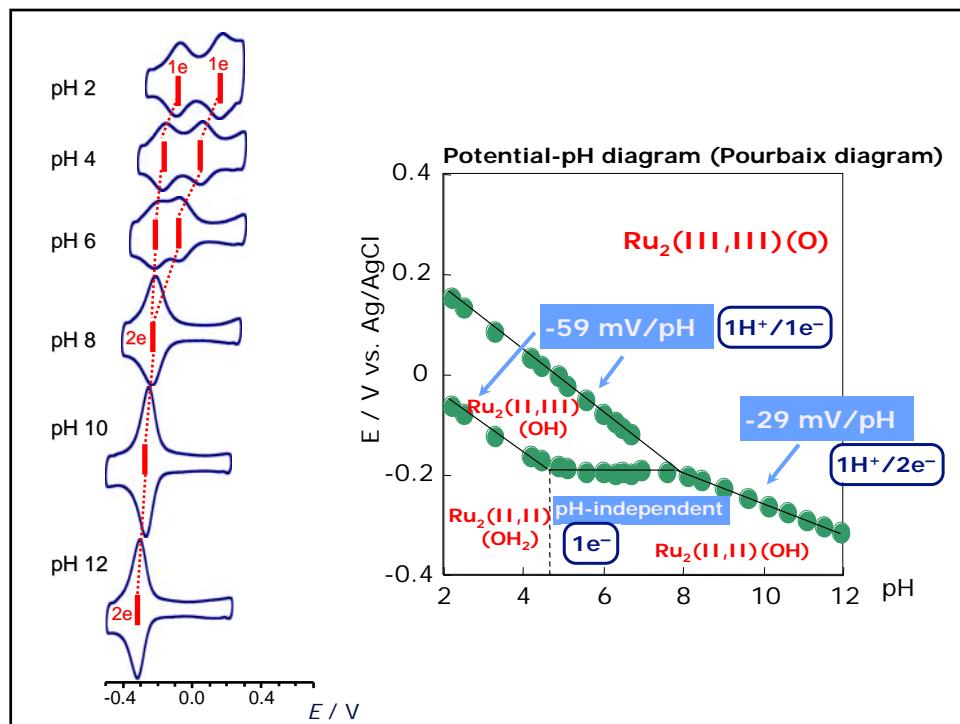


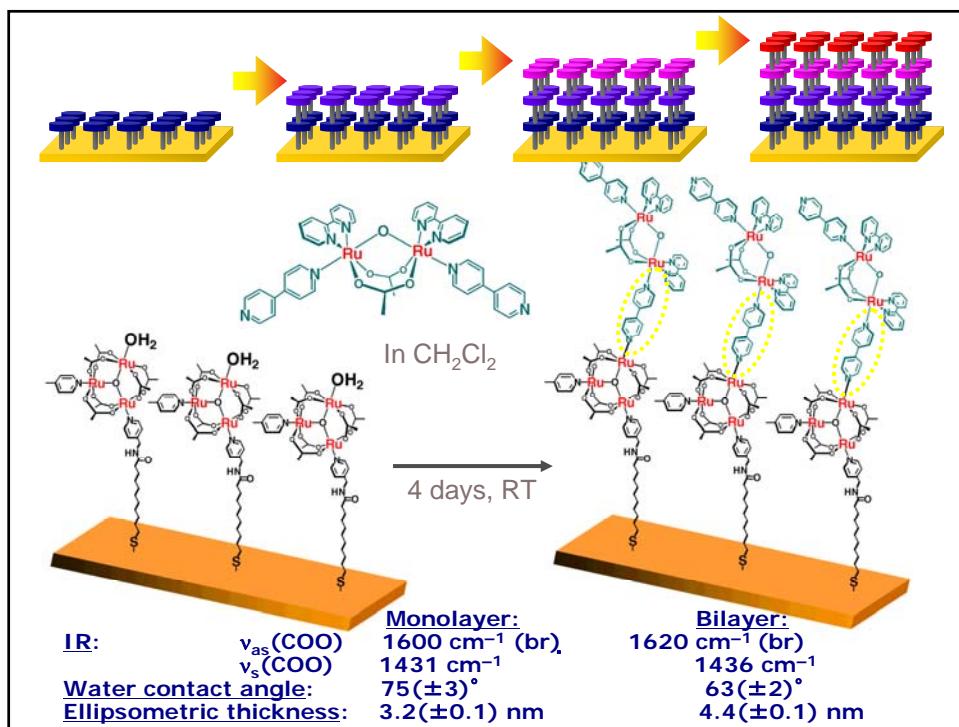
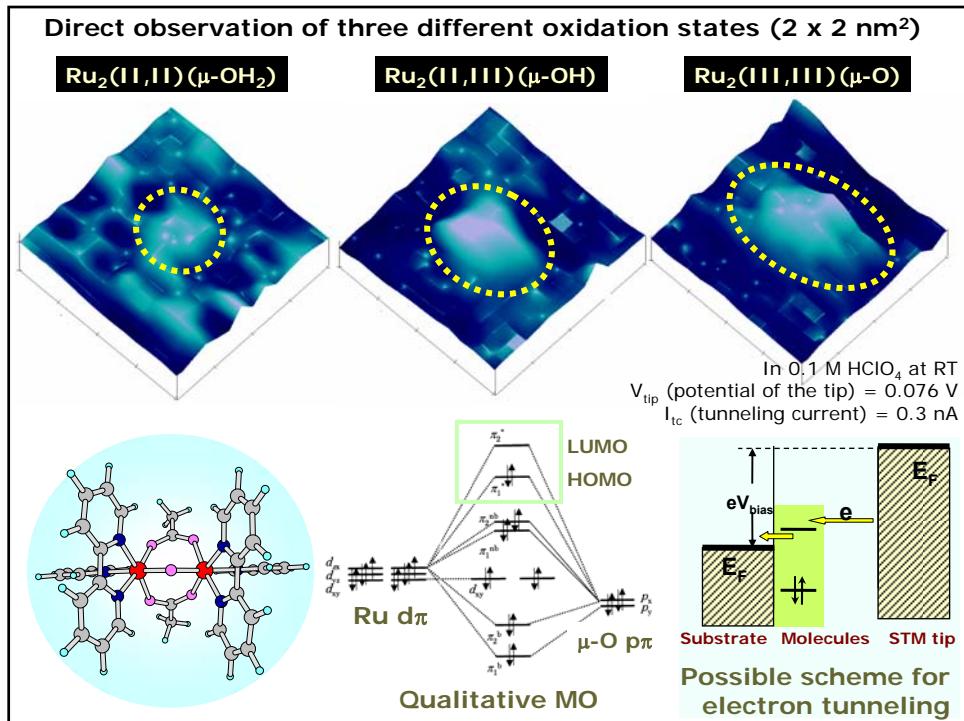
プロトン共役電子移動

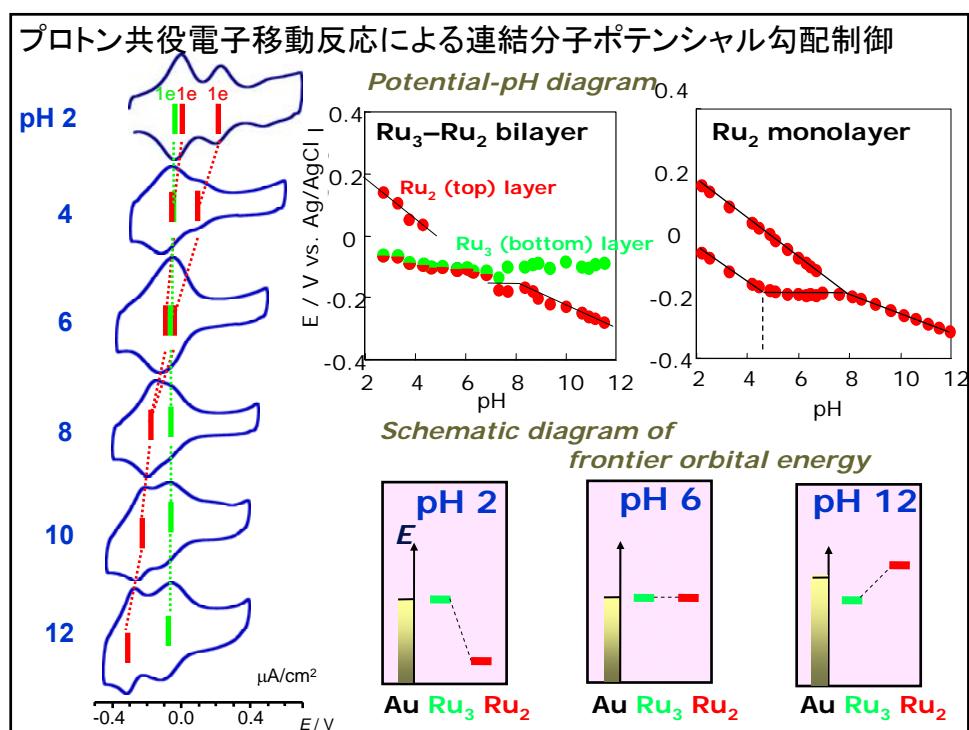
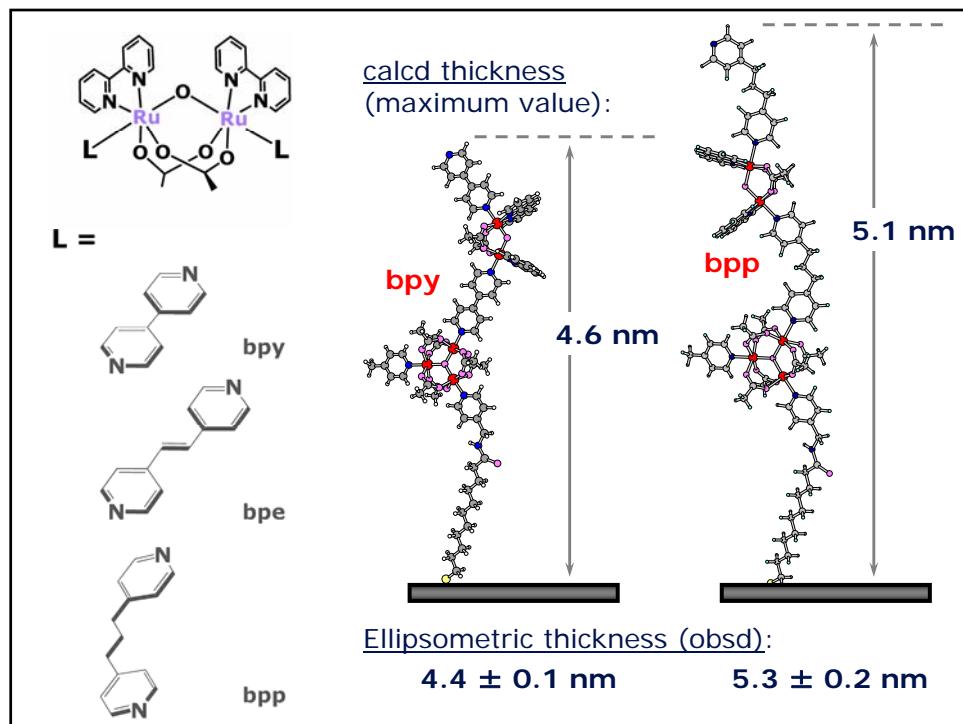


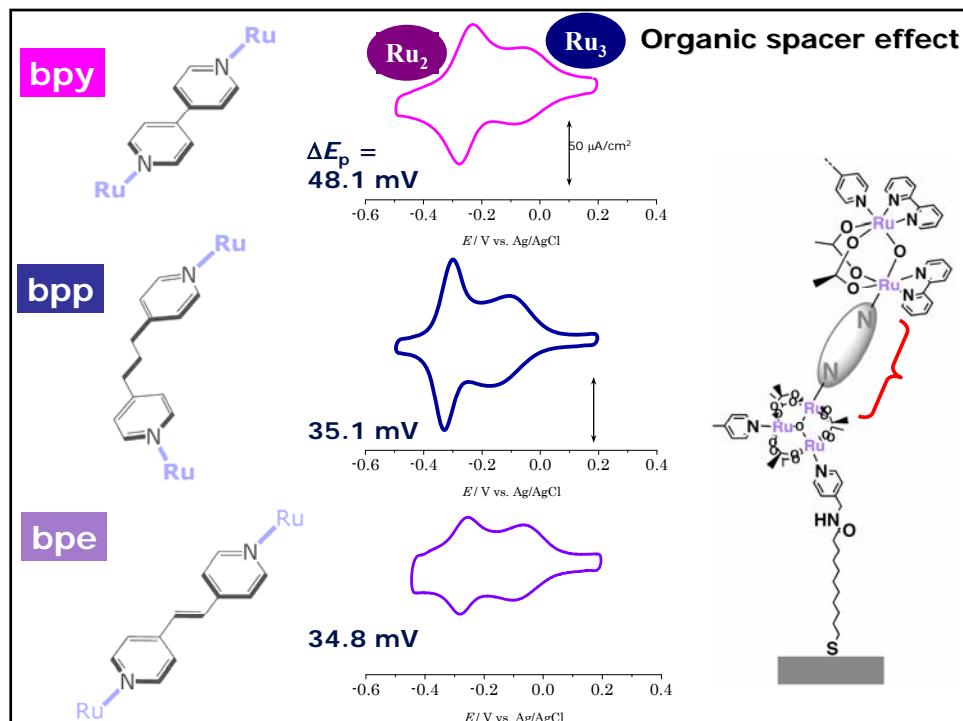
プロトン共役電子移動反応によるポテンシャル制御











謝 辞

■ 北海道大学大学院理学研究院化学部門
 錯体化学研究室 物理化学研究室
 佐々木陽一 教授 魚崎浩平 教授
 (現、触媒化学) 近藤敏啓 博士
 研究センター) (現、お茶の水女子大学)
 柏植清志 博士 高草木達 博士
 野田浩之 博士 岡村昌幸 博士
 道 貴之 氏 増田卓也 博士
 上原広充 氏
 近藤一幸 氏



■ 北海道大学触媒化学研究センター
 大澤雅俊 教授
 叶 深 助教授
 周 厅 博士
 Hua-Xin Zhang 博士



■ 九州大学大学院工学研究院応用化学部門
 久枝良雄 教授